

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 23 日 (2014.1.23)

【公開番号】特開 2012-123126 (P2012-123126A)

【公開日】平成 24 年 6 月 28 日 (2012.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2012-025

【出願番号】特願 2010-273021 (P2010-273021)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 J

G 0 3 B 5/00 G

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 3 日 (2013.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学機器であって、

撮影レンズに配置され、該撮影レンズの光軸と垂直な方向に移動することにより前記撮影レンズにより結像される像のブレを補正する補正手段と、

前記光学機器の振れを検出する振れ検出手段と、

前記補正手段の前記光軸と垂直な方向の位置を検出する位置検出手段と、

前記振れ検出手段の出力と前記位置検出手段の出力とに基づいて、前記補正手段を前記像のブレを補正するように駆動する駆動手段と、

前記光学機器により動画を撮影する場合と静止画を撮影する場合において、前記動画を撮影する状態よりも前記静止画を撮影する状態の方が分解能が高くなるように、前記位置検出手段の制御精度を切り替える切替手段と、

前記光学機器の起動時ごとに、前記補正手段を、前記駆動手段により前記補正手段の初期位置に位置決めする初期化動作を行わせる場合に、前記位置検出手段の制御精度を前記動画を撮影するときの制御精度に設定して前記初期化動作を行わせるように制御する制御手段と、

を備えることを特徴とする光学機器。

【請求項 2】

前記光学機器の起動時に、前記光学機器が前記補正手段を動作させない状態に設定されている場合には、前記制御手段は、前記位置検出手段の制御精度を前記静止画を撮影するときの制御精度に設定して前記初期化動作を行わせるように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の光学機器。

【請求項 3】

前記起動時ごととは、前記光学機器の電源が投入される時ごとであることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の光学機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明に係る光学機器は、光学機器であって、撮影レンズに配置され、該撮影レンズの光軸と垂直な方向に移動することにより前記撮影レンズにより結像される像のブレを補正する補正手段と、前記光学機器の振れを検出する振れ検出手段と、前記補正手段の前記光軸と垂直な方向の位置を検出する位置検出手段と、前記振れ検出手段の出力と前記位置検出手段の出力とに基づいて、前記補正手段を前記像のブレを補正するように駆動する駆動手段と、前記光学機器により動画を撮影する場合と静止画を撮影する場合において、前記動画を撮影する状態よりも前記静止画を撮影する状態の方が分解能が高くなるように、前記位置検出手段の制御精度を切り替える切替手段と、前記光学機器の起動時ごとに、前記補正手段を、前記駆動手段により前記補正手段の初期位置に位置決めする初期化動作を行わせる場合に、前記位置検出手段の制御精度を前記動画を撮影するときの制御精度に設定して前記初期化動作を行わせるように制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。